

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>鉄道連続立体交差事業により踏切による交通渋滞などが解決できることから、早期の事業実施が望まれています。「沿線各駅周辺地区まちづくり方針」に基づき、地域の一体的なまちづくりと併せて駅周辺の基盤整備の検討が必要です。狭あい道路拡幅整備事業では、区民の理解は着実に進んでいるものの、未後退箇所や道路に突出した電柱等が消防車や救急車など緊急車両の通行の支障となるため、首都直下地震への備えの観点からも支障物件の除却や道路拡幅整備の加速化が求められています。オリンピック・パラリンピック開催に向けて、さらなる「心のバリアフリー」の普及啓発と、鉄道駅や道路などのユニバーサルデザイン化の推進が求められています。利便性の高い快適な都市基盤を形成するため、「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」や「杉並区無電柱化推進方針」に基づき、都市計画道路や生活道路の着実な整備が必要です。また、多様化する駐車需要に対応するため、駐車設備の見直しや民間事業者による自転車駐車場の整備支援が必要です。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>鉄道連続立体交差事業では、東京都や沿線区市、鉄道事業者と連携し、事業の早期実現を目指しています。京王線では、用地買収が進み工事着工に向けて動き出しました。西武新宿線では、地域や沿線各駅まちづくり協議会と共に検討を進め、鉄道立体交差の事業化を目指します。災害に強いまちづくりの推進では、狭あい道路拡幅整備を着実に進め、これまでに32.3%の拡幅整備が完了しました。さらに、「杉並区狭あい道路の拡幅に関する条例」に基づき指定した重点整備路線(4路線)や重点地区、整備地区に対して訪問等により拡幅整備及び支障物件除却の要請等に取り組みしました。</p> <p>ユニバーサルデザインのまちづくりでは、「杉並区バリアフリー基本構想」に基づく取組を進め、重点整備地区の方南町駅周辺では平成29年12月に駅のバリアフリー化整備が完了しました。駅と併せて、公園や学校施設の整備を行ったことで周辺施設との一体的なバリアフリー化が進みました。区民の安全・安心を確保し快適な都市基盤を形成するため、都市計画道路補助132号線の早期事業化に向けた用地測量と主要生活道路の安全対策を進めるとともに、平成29年11月に「杉並区無電柱化推進方針」を策定し、防災等の視点から整備効果の高い路線を選定しました。また、民間自転車駐車場育成補助において、建設費補助を6箇所、管理費補助を2箇所の設置者に交付しました。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>誰もが安全・安心に移動できるまちづくりを着実に推進していくため、踏切による交通渋滞や鉄道による地域分断の解消に向けて、東京都、沿線区市、鉄道事業者と連携し鉄道立体交差事業の早期実現を目指すとともに、道路・公共施設のバリアフリー化により、利便性の高い快適な都市基盤の整備を進めていきます。</p> <p>狭あい道路拡幅整備事業では、平成28年6月の改正条例により定めた重点整備路線・支障物件の除却に関する取組状況を公表します。改正条例施行後3年を目途として、狭あい道路の拡幅に関する協議会において施策の実施状況から効果を検証していきます。</p> <p>区民の安全・安心を確保し快適な都市基盤を形成するため、「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」に基づき、都市計画道路や主要生活道路の優先整備路線の整備を計画的に進めるとともに、「杉並区無電柱化推進方針」に基づき、優先的に着手する路線の選定や事業化に向けた調査・設計等を進めていきます。また、増加する大型自転車や買い物客等一時利用などの多様な駐車需要に対応するため、民間事業者による自転車駐車場の整備促進と併せて駐車設備の見直しを検討していきます。</p>
--------------------------	---

平成30年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 04】【施策名称 利便性の高い快適な都市基盤の整備】

金額の単位は千円

(00004)

整理番号	事務事業名称	位置付		平成29年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 376	和泉保健センターの改修			2,916	4,190	7,106	現状維持
2 382	新たな地域交通の整備			300	3,486	3,786	推進(拡充)
3 383	ユニバーサルデザインのまちづくり推進			138	5,928	6,066	現状維持
4 384	鉄道連続立体交差の推進			31,463	27,233	58,696	推進(拡充)
5 414	登録制自転車置場等の運営			12,004	6,357	18,361	現状維持
6 415	有料制自転車駐車場の運営			692,890	37,597	730,487	推進(拡充)
7 416	放置自転車対策の推進			239,644	54,520	294,164	現状維持
8 417	自転車等駐車対策協議会の運営			215	1,804	2,019	現状維持
9 418	自転車駐車場等整備			12,232	22,198	34,430	推進(拡充)
10 425	道路台帳の整備			137,232	76,346	213,578	現状維持
11 427	私道整備助成			183,861	28,264	212,125	現状維持
12 428	道路維持補修			725,965	108,277	834,242	現状維持
13 430	道路の路面改良			606,075	47,079	653,154	現状維持
14 431	魅力ある歩行者優先の道づくり			80,538	11,340	91,878	現状維持
15 432	都市計画道路の整備			15,780	31,529	47,309	推進(拡充)
16 433	狭あい道路拡幅整備			995,602	193,785	1,189,387	推進(拡充)
17 450	南北バスの運行			52,974	14,102	67,076	現状維持
18 526	小学校の施設整備			7,971	34,450	42,421	現状維持
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				3,797,800	708,485	4,506,285	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

平成30年度 杉並区施策評価表 I

(00005)

施策	05	良好な住環境の整備
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	住宅課	関係課 都市整備部管理課 市街地整備課

施策目標 地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成が進み、質の高い住宅都市、「住み続けたいまち、住んでみたいまち」杉並として幅広く認識されています。また、歴史・文化、自然などの価値ある場所がネットワーク化され、まちの魅力・価値が高まっています。
区民が良質な住宅と良好な住環境の中で、ゆとりある住生活が送れるようになっていきます。まちづくりに関する諸制度の的確な運用により、良好な市街地形成が進んでいます。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	長寿命化修繕工事の工事が所数	指標名(1)	住環境に満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	区営住宅管理戸数	指標名(2)	最低居住面積水準未達の住宅に住む世帯の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	住宅・土地統計調査による(5年に1度。平成27~29年度実績値は25年度調査)
指標名(3)	高齢者住宅管理戸数	指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)	民間アパートあっせん申請件数	指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位		平成27年度	平成28年度		平成29年度		目標値	目標年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	所	1	2	2	2	/	/		
	活動指標(2)	2	戸	944	944	944	944				
	活動指標(3)	3	戸	375	353	353	353				
	活動指標(4)	4	件	173	200	133	200				
成果指標	成果指標(1)	5	%	91.0	93.0	91.9	93.0	91.1	95	平成33年度	
	成果指標(2)	6	%	19.5	17	19.5	12	19.5	5	平成33年度	
	成果指標(3)	7									
	成果指標(4)	8									
	成果指標(5)	9									
	成果指標(6)	10									
施策コスト	事業費	11	千円	1,328,676	1,454,801	1,341,805	1,298,536	1,227,344	特記事項		
	(内)投資的経費等	12	千円	113,855	107,136	107,136	88,173	88,170			
	(内)委託費	13	千円	625,697	594,990	537,182	590,549	562,018			
	職員数	常勤職員数	14	人	29.70	27.80	28.96	27.00	28.84		
		再任用職員数	15	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
		非常勤職員数	16	人	7.50	11.50	11.42	11.50	10.50		
	人件費(14+15+16)	17	千円	285,941	281,058	286,274	269,731	283,104			
	総事業費(11+17)	18	千円	1,614,617	1,735,859	1,628,079	1,568,267	1,510,448			
	国・都からの補助金等	19	千円	181,990	248,752	96,597	198,443	122,455			
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20	%	/	/	0.8	9.7	7.2			
人件費比率(17÷18)	21	%	17.7	16.2	17.6	17.2	18.7				

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>国では、高齢者、低額所得者、子育て世帯等、住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度など、民間賃貸住宅や空家を活用した「新たな住宅セーフティネット制度」が平成29年10月に施行されました。 東京都では、国の新たな住宅セーフティネット法の施行に合わせ、去年10月に開始した住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度を着実に普及させていくため、「東京都住宅確保要配慮者賃貸住宅供給促進計画」を策定しました。 また、まちづくりの機運が高まった地域では、地元発意による提案を踏まえ、地区計画制度を活用したまちづくりの取組の増加が予測されます。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>杉並区居住支援協議会の事業である高齢者、障害者、子育て世帯等、住宅確保要配慮者に対するアパートあわせん事業及び入居支援事業では、不動産団体と連携し、利用者への物件情報の提供や仲介手数料及び家賃債務保証料の助成について、事業の運営支援を行いました。 空家等の対策については、専門家による総合相談窓口を開設し、空家等の所有者に助言・提案を行うなど、きめ細かな対応を行いました。また、管理不全な特定空家等については、指導・助言及び勧告を行うとともに、老朽危険空家の除却工事費を助成することで除却が進むなど、改善を図ることができました。さらに、杉並区居住支援協議会と連携し、空家等利活用モデル事業により、住宅確保要配慮者の住まいを提供することができました。 一方、区有の既存ストックである区営住宅については、積極的な長寿命化工事を行い、引き続き有効活用を図るとともに、居住者の高齢化に向けた対応を進めています。 また、まちづくり政策について、「玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画」などの地区計画の既決定区域内では、建築計画の届出が地区計画の内容に沿っているか確認し、指導することで、良好な住環境を形成し、地域の特性を踏まえたまちづくりに向け、着実に成果を上げています。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 813 718 1211"> <p>今後の施策の方向性</p> </td> <td data-bbox="718 813 1560 1211"> <p>現状維持</p> <p>住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の促進に関する法律に基づき設立した杉並区居住支援協議会において、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居の促進及び民間賃貸住宅の供給の促進に関する必要な措置について協議を行い、構成団体の調整を行うなど運営を支援し、杉並区における福祉の向上と住みやすい地域づくりを目指します。 空家等の対策については、空き家に関するセミナーを行う事業者と連携し、空家等の発生抑制と適正な管理について広く周知するとともに、管理不全な特定空家等の問題解決のため、杉並区空家等対策協議会の意見を踏まえ、適切な対応を実施します。また、空家等の利活用に関する課題整理やノウハウの収集のために杉並区居住支援協議会と連携し、引き続き空家等利活用モデル事業を行います。 区営住宅については、バリアフリー対策の実施や長寿命化工事による入居戸数の確保と、高齢者・障害者・子育て世帯への入居優遇策の拡充などの施策を検討します。 まちづくり施策については、地域からのまちづくりに対する提案や住環境の変化等を踏まえて、地区計画等を策定するなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指すとともに、まちづくり活動助成制度の見直しを行うことで、地域住民主体のまちづくり活動の機運醸成を図り、住環境の向上とより良い市街地形成を目指します。</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p> <p>住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の促進に関する法律に基づき設立した杉並区居住支援協議会において、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居の促進及び民間賃貸住宅の供給の促進に関する必要な措置について協議を行い、構成団体の調整を行うなど運営を支援し、杉並区における福祉の向上と住みやすい地域づくりを目指します。 空家等の対策については、空き家に関するセミナーを行う事業者と連携し、空家等の発生抑制と適正な管理について広く周知するとともに、管理不全な特定空家等の問題解決のため、杉並区空家等対策協議会の意見を踏まえ、適切な対応を実施します。また、空家等の利活用に関する課題整理やノウハウの収集のために杉並区居住支援協議会と連携し、引き続き空家等利活用モデル事業を行います。 区営住宅については、バリアフリー対策の実施や長寿命化工事による入居戸数の確保と、高齢者・障害者・子育て世帯への入居優遇策の拡充などの施策を検討します。 まちづくり施策については、地域からのまちづくりに対する提案や住環境の変化等を踏まえて、地区計画等を策定するなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指すとともに、まちづくり活動助成制度の見直しを行うことで、地域住民主体のまちづくり活動の機運醸成を図り、住環境の向上とより良い市街地形成を目指します。</p>
<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p> <p>住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の促進に関する法律に基づき設立した杉並区居住支援協議会において、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居の促進及び民間賃貸住宅の供給の促進に関する必要な措置について協議を行い、構成団体の調整を行うなど運営を支援し、杉並区における福祉の向上と住みやすい地域づくりを目指します。 空家等の対策については、空き家に関するセミナーを行う事業者と連携し、空家等の発生抑制と適正な管理について広く周知するとともに、管理不全な特定空家等の問題解決のため、杉並区空家等対策協議会の意見を踏まえ、適切な対応を実施します。また、空家等の利活用に関する課題整理やノウハウの収集のために杉並区居住支援協議会と連携し、引き続き空家等利活用モデル事業を行います。 区営住宅については、バリアフリー対策の実施や長寿命化工事による入居戸数の確保と、高齢者・障害者・子育て世帯への入居優遇策の拡充などの施策を検討します。 まちづくり施策については、地域からのまちづくりに対する提案や住環境の変化等を踏まえて、地区計画等を策定するなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指すとともに、まちづくり活動助成制度の見直しを行うことで、地域住民主体のまちづくり活動の機運醸成を図り、住環境の向上とより良い市街地形成を目指します。</p>		

平成30年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 05】【施策名称 良好な住環境の整備】

金額の単位は千円

(00005)

整理番号	事務事業名称	位置付		平成29年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要 事業				
1 031	阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり推進事業			25,020	11,254	36,274	現状維持
2 379	まちづくり施策の総合的な推進			9,984	21,134	31,118	現状維持
3 380	用途地域などの案内調整			40,927	37,589	78,516	現状維持
4 381	都市計画道路公園緑地の案内調整			40	11,770	11,810	現状維持
5 385	地区整備計画			20,626	39,776	60,402	現状維持
6 389	まちづくり活動の支援			1,529	9,548	11,077	現状維持
7 394	区営住宅の住環境整備			88,170	3,436	91,606	推進(拡充)
8 395	区営住宅の提供			222,497	25,647	248,144	推進(拡充)
9 396	区民住宅の運営管理			19,101	10,309	29,410	縮小(廃止)
10 397	高齢者住宅の提供			520,331	32,887	553,218	現状維持
11 398	都営シルバーピアの運営			28,666	3,436	32,102	現状維持
12 399	高齢者等アパートの提供			43,196	12,523	55,719	現状維持
13 400	住宅総合相談等			399	10,805	11,204	現状維持
14 401	住宅修築資金の融資あっせん			674	2,577	3,251	現状維持
15 402	区営住宅整備基金の積立金			188,316	1,718	190,034	現状維持
16 403	住宅施策の推進			7,074	19,720	26,794	推進(拡充)
17 412	空家等対策の推進			10,794	28,975	39,769	現状維持
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,227,344	283,104	1,510,448	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

平成30年度 杉並区施策評価表 I

(00006)

施策	06	魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	市街地整備課	関係課 地域課 文化・交流課 産業振興センター

施策目標 荻窪駅周辺では、商業機能や生活利便施設の集積及び利便性の高い都市空間の形成など、「都市再生まちづくり」が着実に進んでいます。駅を中心に区内各地域の特性を活かした魅力のあるまちづくりが進み、多くの人が訪れたいと活気が生まれています。また活かなみ景観の視点から考えるまちづくり活動など区民一人ひとりの主体的な取組が進み、美しいまちなみづくりを支えています。「杉並」の知名度の高まりとともに、杉並の「良さ」、「らしさ」が区外にも周知され、持続的に集客力が高まり、にぎわいの創出につながっています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数	指標名(1)	住環境に満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数(～26年度) 駅周辺整備に関する相談・指導回数	指標名(2)	杉並区のまちを美しいと思う人の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(3)	景観新聞(景観録)の発行部数	指標名(3)	区内全駅の1日平均乗降人員
算式・指標説明		算式・指標説明	各鉄道会社の公表による(JR4駅は乗車人員、他の駅は乗降人員の平均)
指標名(4)	中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数	指標名(4)	「すぎなみ学倶楽部」のアクセス数
算式・指標説明		算式・指標説明	ページビュー数
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		目標値	目標年度			
			実績	計画	実績	計画(目標値)			実績		
活動指標	活動指標(1)	1	回	19	15	16	18	35			
	活動指標(2)	2	回	3	4	8	8	8			
	活動指標(3)	3	部	6,000	5,000	6,000	6,000	6,000			
	活動指標(4)	4	回	18	16	17	16	16			
成果指標	成果指標(1)	5	%	91.0	93.0	91.9	93.0	91.1	95	平成33年度	
	成果指標(2)	6	%	78.9	81.0	78.4	82.0	78.8	85	平成33年度	
	成果指標(3)	7	人	724,064	724,000	734,505	731,000	748,182	759,000	平成33年度	
	成果指標(4)	8	件	518,231	620,000	558,944	630,000	613,897	670,000	平成33年度	
	成果指標(5)	9									
	成果指標(6)	10									
施策コスト	事業費	11	千円	164,124	206,207	188,135	189,935	179,401	特記事項		
	(内) 投資的経費等	12	千円	147	918	810	0	190			
	(内) 委託費	13	千円	98,027	125,045	115,566	115,325	110,127			
	職員数	常勤職員数	14	人	20.09	15.50	18.21	16.50	18.88		
		再任用職員数	15	人	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	16	人	2.50	3.11	3.09	3.09	3.10		
	人件費(14+15+16)	17	千円	187,204	144,707	165,095	150,454	171,325			
	総事業費(11+17)	18	千円	351,328	350,914	353,230	340,389	350,726			
	国・都からの補助金等	19	千円	0	5,373	7,374	8,728	9,646			
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20	%			0.5	3.0	0.7			
人件費比率(17÷18)	21	%	53.3	41.2	46.7	44.2	48.8				

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>区内各駅周辺は、後背に住宅エリアが広がる既成市街地のため空地が少なく、駅周辺における高度利用や商業地化に対しては住民の間でも様々な意見があります。こうした中で、まちの課題を解決し、その良さを将来に向けて伸ばしていくためには、まちづくりのきっかけや地域の機運を的確に捉えて、区民や関係機関等との適切な役割分担のもと、戦略的・計画的にまちづくりを進めていくことが必要です。また、訪日外国人旅行者数は年々増加しており、平成29年は約2,869万人と過去最高を記録しています。さらに観光庁では、平成32年に4,000万人、平成42年に6,000万人を目標として掲げているほか、外国人旅行者の志向が「モノ(消費)」から「コト(体験)」へと変化していることなど、にぎわいの創出に絶好の好機が訪れています。これを踏まえ、外国人を含めた観光客の動向やニーズを的確に捉え、更なる効果的な情報発信等により区へ誘致し、「にぎわい・商機」の創出につなげていくなど、総合的な「まちづくり」を進めていく必要があります。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>地域特性を活かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを進めるため、ハード・ソフト両面の取組の連携を図りながら、駅周辺や景観まちづくり、観光促進や二メの振興と活用等に取り組みました。荻窪駅周辺及び阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりでは、説明会や区民等意見集るとともに、方針の具体化に向けて調査・検討を進めました。また、改定した景観計画の適切な運用を図るとともに、普及啓発として「すぎなみ景観ある区マップ」や「杉並景観録」を発行するなど、景観まちづくりの取組を着実に進めました。「にぎわい創出」に向けた取組として、観光促進では、中央線あるあるプロジェクトをはじめ、旅行者が杉並区を体験できる「杉並体験ツアー」や区民線区内の魅力を紹介する「すぎなみ学倶楽部」など、多角的に事業展開を図り、「すぎなみ学倶楽部」のアクセス数(ページビュー数)が前年度比54,953件の増となるなど、成果が着実に表れています。また、杉並アニメーションミュージアムでは多言語化の充実や新たな開始した他区との連携事業などを通じて周知・利用促進に努めた結果、来場者数が過去最高を記録したほか、「日本のアニメ聖地88」にも選定されたことで認知度が高まり、「にぎわい・商機」の創出に寄与しました。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 現状維持</p> <p>交通拠点である駅周辺を核とし、それぞれの地域特性を活かしたにぎわいや魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。そのため、荻窪駅周辺や阿佐ヶ谷駅等周辺では、策定した「まちづくり方針」を区民・事業者等と共有するとともに、連携を図りながら、方針の具体化に向けた取組を進めていきます。加えて、改定した景観計画について更なる周知に取り組み、区民、事業者及び区が協働して、自主的な景観づくりの機運醸成を図ります。</p> <p>また、目前に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等により、国内外から東京を訪れる旅行者の大きな増加が見込まれます。この千載一遇の好機を活かして、区の「にぎわい・商機」の創出へとつなげていくため、来街者増を目指して、旅行者の動向やニーズを的確に把握するとともに、「中央線あるあるプロジェクト」等の情報発信事業を中心に、民間事業者とも連携を密にししながら、各事業を展開していきます。</p> <p>今後も、都市機能の集積や基盤整備などのハード面と、産業振興や文化振興等のソフト面が連携した取組により、各駅周辺の地域資源を活かした、区民が住み続けたいと思うまちづくり、訪れる人にとって魅力的なまちづくりを進めます。</p>
--------------------------	---

平成30年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 06】【施策名称 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり】

金額の単位は千円

(00006)

整理番号	事務事業名称	位置付		平成29年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1	102 アニメの振興と活用			88,982	25,796	114,778	現状維持
2	103 観光促進			62,557	51,961	114,518	現状維持
3	388 景観まちづくり			4,680	32,400	37,080	現状維持
4	392 都市再生事業			10,575	31,615	42,190	現状維持
5	393 多心型まちづくりの推進			12,607	29,553	42,160	推進(拡充)
6	以下再掲事業分の評価表						
7	072 オリンピック・パラリンピックの推進						
8	074 文化・芸術の振興						
9	101 商店街支援						
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				179,401	171,325	350,726	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

平成30年度 杉並区施策評価表 I

(00007)

施策	07	地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	産業振興センター	関係課

施策目標	<p>区と区内産業経済団体等が一体となって様々な産業振興策を実施し、区内経済が着実に活性化してきています</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労支援や創業支援等の取組により、多くの意欲ある現役世代等の就職が叶うとともに、創業が進んでいます 区内農業者等による地産地消の取組が行われ、学校給食へ農産物が提供されるなど、都市型農業の持つ多面性が活かされるようになってきています。
------	---

活動指標		成果指標	
指標名(1)	融資あっせん件数	指標名(1)	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数
算式・指標説明		算式・指標説明	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数
指標名(2)	装飾LED化及び防犯カメラ設置補助商店街数	指標名(2)	創業支援による創業者数
算式・指標説明		算式・指標説明	区が実施する特定創業支援事業を利用し、区内で創業した事業者数
指標名(3)	農家戸数	指標名(3)	商店街への満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(4)	就労準備相談・心としごとの相談件数	指標名(4)	区内農業産出額
算式・指標説明		算式・指標説明	東京都農作物生産状況調査による(目標及び実績は、当該年度において直近でとれる数値)
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1 件	692	1,000	552	1,000	522			
	活動指標(2)	2 商店街	16	12	9	12	22			
	活動指標(3)	3 戸	146	146	142	142	137			
	活動指標(4)	4 件	2,022	2,000	1,824	2,100	1,851			
成果指標	成果指標(1)	5 人	829	600以上	837	850以上	783	年600人以上	平成33年度	
	成果指標(2)	6 件	52	45	67	55	101	年45件	平成33年度	
	成果指標(3)	7 %	58.9	61	62.0	62	61.2	65	平成33年度	
	成果指標(4)	8 (百万円)	322	345	323	350	321	370	平成33年度	
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11 千円	985,601	794,279	661,229	874,622	742,450	特記事項		
	(内)投資的経費等	12 千円	2,115	531	626	0	0			
	(内)委託費	13 千円	200,474	205,231	193,728	231,212	219,547			
	職員数	常勤職員数	14 人	16.35	15.30	16.58	14.60	16.75		
		再任用職員数	15 人	1.08	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	16 人	9.02	9.00	8.68	9.43	10.15		
	人件費(14+15+16)	17 千円	173,957	160,247	167,746	153,022	173,781			
	総事業費(11+17)	18 千円	1,159,558	954,526	828,975	1,027,644	916,231			
	国・都からの補助金等	19 千円	300,079	107,386	96,326	50,996	49,878			
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20 %			28.5	7.7	10.5			
人件費比率(17÷18)	21 %	15.0	16.8	20.2	14.9	19.0				

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>雇用環境や経済環境は穏やかな回復基調が継続し、地域経済を支える中小企業においても、景況感 は改善傾向にありますが、国外情勢なども含め先行きの不透明感は払拭できない状況にあります。 区内産業においては、経済基盤の強化や新たな事業展開に向けた支援、経営者の高齢化や後継者不 足など事業承継への対応、業種による人材不足などが課題となっています。 農業においては、生産緑地法の一部改正等、農地保全にかかわる法改正が進んでいます。また、都 市農地の持つ、農産物の生産拠点や緑地保全といった機能のみならず、区民に安らぎや潤いを与える 場、防災上のオープンスペース、食育教育の場等、都市農業の多面的機能に期待が寄せられています 。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>区内の産業実態を把握し、平成30年度に行う産業振興計画の改定に資するため産業実態調査を実施 しました。この調査や現産業振興計画の進捗状況を基に産業振興審議会から計画改定に向けた様々な 意見をいただきました。 また、区内産業経済団体や地域団体と連携しながら、中小企業、商店街、農業者への各種支援を実 施することができました。中小企業に対する取り組みとして、中小企業資金融資あっせんや商工相談 、創業支援、異業種交流会の開催など、経営の安定を目的とした支援を行いました。商店街に対して は、装飾灯等のLED化や防犯カメラの設置を拡充し、商店街環境の整備と、外部人材や地域団体と の協働によるイベント等に対する支援を行い、商店街の活性化を進めることができました。 農業に対しては、上井草二丁目団地利用農園を開園し、区民が農とふれあう場を創出するとともに 、農業関係者や交流自治体との連携による農産物の即売会の実施やPR等を通して、都市農業への区 民の理解を深めることができました。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 813 718 1211"> <p>今後の施策の方向性</p> </td> <td data-bbox="718 813 1560 1211"> <p>現状維持</p> <p>中小企業の経営基盤強化や事業承継等の経営支援や創業支援、求職者に対する就労支援及び事業者 の雇用確保への支援、商店街の活性化、農地保全と活用、農業経営支援を引き続き進めます。商店街 に対しては、新たに町会や自治会など地域団体と商店街が連携協力した地域連携型商店街事業に取り 組み、地域の活性化を図ります。農業においては、都市農業振興基本法の制定や生産緑地法の一部改 正等について、農業関係者への周知を図るとともに、地産地消の一層の推進と農業公園や区民農園、 体験農業などを通して区民が気軽に農に親しむ機会の創出に取り組み、都市農業の持つ多面的機能を 広くPRしていきます。 また、産業実態調査の結果や現産業振興計画の進捗状況、産業振興審議会等の意見等を踏まえ、時 代の変化に対応した指針となる計画として、産業振興計画を改定します。</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p> <p>中小企業の経営基盤強化や事業承継等の経営支援や創業支援、求職者に対する就労支援及び事業者 の雇用確保への支援、商店街の活性化、農地保全と活用、農業経営支援を引き続き進めます。商店街 に対しては、新たに町会や自治会など地域団体と商店街が連携協力した地域連携型商店街事業に取り 組み、地域の活性化を図ります。農業においては、都市農業振興基本法の制定や生産緑地法の一部改 正等について、農業関係者への周知を図るとともに、地産地消の一層の推進と農業公園や区民農園、 体験農業などを通して区民が気軽に農に親しむ機会の創出に取り組み、都市農業の持つ多面的機能を 広くPRしていきます。 また、産業実態調査の結果や現産業振興計画の進捗状況、産業振興審議会等の意見等を踏まえ、時 代の変化に対応した指針となる計画として、産業振興計画を改定します。</p>
<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p> <p>中小企業の経営基盤強化や事業承継等の経営支援や創業支援、求職者に対する就労支援及び事業者 の雇用確保への支援、商店街の活性化、農地保全と活用、農業経営支援を引き続き進めます。商店街 に対しては、新たに町会や自治会など地域団体と商店街が連携協力した地域連携型商店街事業に取り 組み、地域の活性化を図ります。農業においては、都市農業振興基本法の制定や生産緑地法の一部改 正等について、農業関係者への周知を図るとともに、地産地消の一層の推進と農業公園や区民農園、 体験農業などを通して区民が気軽に農に親しむ機会の創出に取り組み、都市農業の持つ多面的機能を 広くPRしていきます。 また、産業実態調査の結果や現産業振興計画の進捗状況、産業振興審議会等の意見等を踏まえ、時 代の変化に対応した指針となる計画として、産業振興計画を改定します。</p>		

平成30年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 07】【施策名称 地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興】

金額の単位は千円

(00007)

整理番号	事務事業名称	位置付		平成29年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1	100 中小企業支援			111,562	37,660	149,222	現状維持
2	101 商店街支援			277,629	39,971	317,600	現状維持
3	104 産業振興の基盤整備			63,184	26,041	89,225	現状維持
4	105 産業商工会館維持管理			47,797	6,100	53,897	現状維持
5	106 農業委員会の運営			6,091	8,591	14,682	現状維持
6	107 農業の支援・育成			80,490	22,199	102,689	現状維持
7	108 都市農地確保			17,415	8,626	26,041	推進(拡充)
8	109 勤労福祉会館維持管理			61,365	2,577	63,942	現状維持
9	111 就労支援			76,917	22,016	98,933	現状維持
10	以下再掲事業分の評価表						
11	085 【欠番】阿佐谷地域区民センターの移転整備						
12	102 アニメの振興と活用						
13	103 観光促進						
14	112 就労支援センターの移転整備						
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				742,450	173,781	916,231	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--